



神石小だより

神石高原町立神石小学校
学校だより 11月号
令和4年 11月 14日

古典の日 読書集会



11月1日は「古典の日」でした。学校ではこの日に、学年代表によるおすすめの本の紹介（ブックトーク）をしました。その中で、今年度神石高原町の「子ども司書」養成講座を受講している6年生の木原さんからおすすめの本の紹介もありました。そして、図書委員会による昔話

「せんたくのおかね」の読み語りがありました。最後にさまざまな昔話に関するクイズもあり、本に親しむ時間となりました。また、校長から『エルマーのぼうけん』の本の紹介があり、自分が興味のある本から読んでいくと、読書がどんどん楽しくなることを伝えています。これからも本との出会いを大切にしていきたいと思います。



校外学習 神龍湖（総合的な学習の時間）・スコラ高原（生活科）

10月25日（火）に5・6年生が総合的な学習の時間の学習で神龍湖に出かけました。「みんなで神龍湖プロジェクト」と銘打って、神龍湖について学習をしました。今回の見学では、神石民族資料館に行かせていただきました。資料館では、神龍湖の歴史や帝釈峡観音堂遺跡について学ぶことができました。遊覧船に乗ったり、神龍湖に来られる方が気持ちよく過ごせるように落ち葉掃除をしたりしました。

また、11月4日（金）に、1・2年生が生活科の学習でスコラ高原に出かけました。カエデやイチョウなどの木々が赤や黄色に色づいた紅葉シーズン真っ只中のスコラ高原で、2年生が考えた「枯れ葉かくれんぼ」や「ひみつ基地」「葉っぱでお弁当」作りなど、自然を生かした遊びを満喫しました。また、改めて自分たちの住む地域のよさも感じる事ができました。



「みんなで減災」一斉地震防災訓練・防火学習

11月2日に、広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として一斉防災訓練を行いました。また、10月24日には、消防署（小塚出張所）の消防士さんをお招きし、火災を想定した避難訓練や消火器を使った初期消火訓練などの防火学習を行いました。



ヒヤシンスとともに心も育てよう！～「人権の花」贈呈式～

10月18日（火）に、人権擁護委員の瀧川さんと米山さんにご来校いただき「人権の花」贈呈式を行いました。1年生から4年生の児童達は、いただいたヒヤシンスを育てながら、思いやりの心も育てていきます。



11月・12月の主な行事予定

- | | | | |
|-----------|---------------------------|--------|---------------|
| 11月14日（月） | 神石高原中授業・部活動体験 | 25日（金） | マラソン大会（3・4校時） |
| 12月2日（金） | 学習発表会・PTA全体会（13:00～15:40） | | |
| 11日（日） | ミニコンサート（14:30～15:30） | 12日（月） | 振替休業日 |
| 23日（金） | 2学期終業式 | 26日（月） | 個人懇談 |

3つの「間」を大切に！

少し前のあるローカル新聞に、「大切にしたい『間』がある」という記事があるのに目がいききました。それ以来、小学校での子供達の姿を見ていると、この「間」についていろいろと考えさせられます。

「大切にしたい『間』」とは、「時間」「仲間」「空間」です。「時間」や「仲間」については、先生達も保護者の方も「大事にしないといけないよ」という意味の言葉を子供達に伝えられているのではないかと思います。しかし、「空間」の大切さについては、どうでしょう。私自身、「空間」ということ自体あまり子供達に意識させていません。よく言われる「大切な『空間』は、「片付けがされたきれいな『空間』で、快適で・気持ちよく・能率よく仕事ができる『空間』」を指すことが多いのですが、別な意味で「空間」ということを意識すると、次のような風景が見えてくるのです。

○授業中、鉛筆の音だけが聞こえる教室。

（皆が一つの課題に向けて一生懸命に取り組む教室の雰囲気…これこそが、大切にしたい「空間」ではないか。）

○給食の後、隣の人と少し間隔をとって歯磨きをしている様子。

（本当は、近づいて話をしながら歯も磨きたいだろうに、大事な自分や友達を守るために、一人一人が考えて行動している姿…これこそが、大切にしたい「空間」ではないか。）

○授業中、「困ったな」と思った時に、隣を見たり、下を見たりする子供達の姿。

（「困った姿」に対して、同じ「空間」にいるからこそ、「自分も『困っている』と表現したり、助けたりする。先生も、「うん？どうしようかなあ」と考える。…これこそが、ICT教育が叫ばれている今でも大切にしたい「空間」ではないか。）

上のようなことを考えながら、11月8日の「皆既月食」を眺めていました。今、みんなは、それぞれ別の家にいる。だけど、「一つの月を見る」ということから考えてみると、同じ「空間」で、同じ「時間」に多くの「仲間」と大事なひとときを過ごしている。

これからも、大切にしたい3つの「間」、「時間」「仲間」「空間」を意識しながら、子供達の成長を応援していきたいと思います。

校長 田丸 栄